

2024年4月25日

報道関係各位

GMO メイクショップ株式会社

「makeshop byGMO」、  
年間流通額が 12 年連続で EC 構築 SaaS 業界 No.1！  
累計流通額は 2 兆 5,000 億円を突破  
～アニメ・ゲーム関連商品の好調と BtoB・会員制サイトの成長～

GMO インターネットグループの GMO メイクショップ株式会社（代表取締役社長 CEO：向畑 憲良、以下、GMO メイクショップ）が提供する EC サイト構築 SaaS「makeshop byGMO」（URL：<https://www.makeshop.jp/>）は、2023 年の年間流通額が過去最高を更新する 3,153 億円に達し、国内の EC サイト構築 SaaS 業界において年間流通額が 12 年連続 No.1<sup>(※1)</sup> になりました。また、2004 年の創業以来の累計流通額は 2023 年 12 月末に 2 兆 5,000 億円を突破しました。

(※1) EC サイト構築サービス運営企業各社の発表数値より SaaS 型の数値を比較（GMO メイクショップ調べ 2024 年 3 月時点）



### 【流通額増加の背景と傾向】

EC 市場規模は、新型コロナウイルス感染拡大により 2020 年からの 3 年間で大きく成長しました。特に 2022 年の日本国内の BtoC の市場規模は、前年比 9.91%増の 22.7 兆円に拡大、BtoB においても前年比 12.8%増の 420.2 兆円に増加しました。BtoC-EC 市場は 2023 年以降その影響が落ち着きつつあるものの、BtoB-EC 市場は 2024 年現在もコロナの影響以前を越える市場規模の拡大が続いています。<sup>(※2)</sup>

GMO メイクショップにおいても、消費者の行動変化に合わせて EC 事業者の対応が変化中、BtoB のニーズにも迅速に対応しながら「makeshop byGMO」のバージョンアップを重ねることで、2023 年は法人企業様も中心に新たに 1,748 店舗の増加となり、サービス提供開始から 20 年で 12,000 店舗を突破しました。<sup>(※3)</sup>

(※2) 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課「令和 4 年度 電子商取引に関する報告書」

[https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/statistics/outlook/230831\\_new\\_hokokusho.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/statistics/outlook/230831_new_hokokusho.pdf)

(※3) 「makeshop byGMO」の『プレミアムショッププラン』以上をご利用中の法人契約数（自社調べ 2023 年 12 月時点）

## ■ 日本文化コンテンツ産業、アニメ・ゲームを中心に市場が拡大

日本の文化コンテンツ産業は急速に成長しています。特にアニメやゲーム、IP（知的財産）関連の売上が著しく増加し、2022年のこれらの市場規模は2年連続で過去最高を更新し、前年比6.8%増の2兆9,277億円となりました。<sup>(※4)</sup>

この市場の成長に伴い、「makeshop byGMO」でもアニメやゲーム関連商品の売れ行きが好調でした。アニメやゲームキャラクターの商品を取り扱う「おもちゃ・ホビー・ゲーム」ジャンルは、前年比10%増の184億円となり、急成長する文化コンテンツ産業の影響が表れています。

(※4)一般社団法人日本動画協会報告書「アニメ産業レポート2023」サマリー版

[https://aja.gr.jp/download/anime-industry-report-2023\\_summary\\_jp](https://aja.gr.jp/download/anime-industry-report-2023_summary_jp)

## ■ 「本・雑誌・コミック」ジャンル伸び率が急成長

「本・雑誌・コミック」ジャンルの2022年の流通取引総額は、前年比37%増の28億円となりました。2021年の対前年比の伸び率は全21カテゴリー中19位だったところ、2022年は1位となり、急成長しています。

特に、趣味に関する書籍のほか、教育機関向けの学術書、医学書などの売れ行きが好調です。書店数の減少傾向が続く中<sup>(※5)</sup>、出版社や書店は書籍の販路をECに移した結果、同ジャンルの流通額が拡大していると考えられます。

(※5)公益社団法人 全国出版協会「日本の書店数」<https://shuppankagaku.com/knowledge/bookstores/>

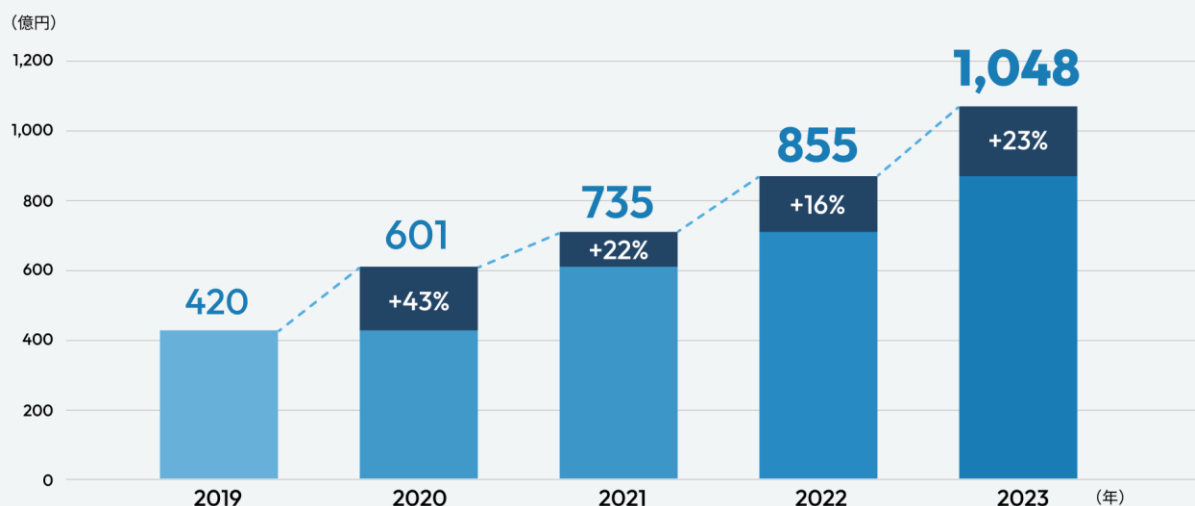
## ■ BtoB 向けのサイトや会員制サイトが急成長

「makeshop byGMO」における2023年のBtoB向けのサイトや会員制サイトは、前年比23%増の1,048億円となり、急速に成長しています。

コロナウイルス感染拡大により企業間での非対面による受発注取引が求められるようになったのに加え、日本社会全体がDX推進への機運が高まっていることも追い風となり、これまでFAXや電話などで行われていた受発注業務がEC化されたことでBtoB向けサイトや会員制サイトの流通額が急速に拡大しています。特に、医療機関向けの薬などを販売する卸売サイトや、駐車場サービス券発注サイトなど、これまでは企業間の取引においてチラシやカタログなどのアナログな方法で販売していた業界がECに切り替えたことで、著しい成長を遂げました。

DX市場は今後も拡大が続くと予測されていることから、今後もBtoB向けサイトや会員制サイトの成長が期待されます。

### コロナ禍以降もBtoB / 会員制サイトは好調キープ



## ■円安の影響を受け、昨年に続き越境 EC が好調

2023 年は「海外販売機能」の利用率も大きく成長しており、海外販売額は前年比 54%増となりました。また、「海外販売機能」の導入店舗数は、前年比 64%増となりました。これらは 2022 年より加速した円安により、海外での販売価格が下がり海外での需要が高くなったことで、越境 EC の好調につながったと考えられます。 (※6)

(※6) 経済産業省「世界的な供給制約の高まり」<https://www.meti.go.jp/report/tshuku2022/2022honbun/i1120000.html>

## 【流通額増加に向けた今後の取り組み】

「makeshop byGMO」は多くの EC 事業者には支持され、創業から 20 年目の節目となる 2024 年、累計の流通額が 2 兆 5,007 億円となりました。

「makeshop byGMO」は、売上の増加に対応できる管理画面の機能強化や、のしや時間指定配送などの日本の商習慣に合わせた機能を追加し、さらにファッション、フード、雑貨などさまざまなジャンルのショッピングにも対応できるよう機能を追加するなど、常に変化する EC サイト運営者のニーズに迅速に対応し続けることで、成長を続けてまいりました。

今後はさらに、「次世代 EC 開発プロジェクト」 (※7) の推進に注力し、EC 事業者の売上拡大を支援するため、マーケティングデータの有効活用を促進する CRM ツールの提供、さらに、BtoB を含むさまざまなニーズに対応するため、オークション販売やレンタル・サブスク販売などの機能の提供も積極的に進めてまいります。

(※7) 「次世代 EC 開発プロジェクト」は、2020 年より推進している段階的なリニューアル計画です。リニューアルの詳細や今後の計画については、下記 URL にて順次公開しています。URL : [https://www.makeshop.jp/main/lp/next\\_ec/](https://www.makeshop.jp/main/lp/next_ec/)



## 【GMO メイクショップ株式会社について】

GMO メイクショップは「Commerce for a better future. / 商取引でより良い未来に」をミッションに掲げ、プラットフォーム事業とシステムインテグレーション事業を展開しています。プラットフォーム事業では、EC 構築支援から、EC マーケティング支援、EC 運用受託まで対応し、また、運営資金調達のための補助金・助成金の申請支援や、EC の売上を最短即日で入金する『即日売上入金 サービス』提供によるキャッシュフロー改善支援など、EC 領域における一気通貫の支援体制を整えています。

12 年連続で業界 No.1 の EC サイト構築 SaaS「makeshop byGMO」をはじめ、上位版サービスとし

て、カスタマイズに対応する「GMO クラウド EC」も提供し、スタートアップから大規模 EC まで、あらゆるビジネスの EC 化をサポートしています。

今後も GMO メイクショップは、広範な EC 領域において店舗様が抱える様々な課題を解決できるよう、サービスの強化を図り、国内の EC 市場の活性化に貢献してまいります。

以上

---

**【報道関係お問い合わせ先】**

●GMO メイクショップ株式会社

事業推進部 広報担当 高橋

TEL : 03-5728-6227 E-mail : [pr@ml.makeshop.jp](mailto:pr@ml.makeshop.jp)

●GMO インターネットグループ株式会社

グループコミュニケーション部 広報担当 山崎

TEL : 03-5456-2695

URL : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

**【サービスに関するお問い合わせ先】**

●GMO メイクショップ株式会社

サポート窓口

TEL : 03-5728-6224

E-mail : [help@makeshop.jp](mailto:help@makeshop.jp)

**【GMO メイクショップ株式会社】 (URL : <https://www.makeshop.co.jp/>)**

会社名	GMO メイクショップ株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 CEO 向畑 憲良
事業内容	■プラットフォーム事業 (EC 構築支援・EC マーケティング支援・EC 運用受託) ■システムインテグレーション事業
資本金	5,000 万円

**【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)**

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証 プライム市場 証券コード : 9449)	
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー	
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿	
事業内容	■インターネットインフラ事業	■インターネット広告・メディア事業
	■インターネット金融事業	■暗号資産事業
資本金	50 億円	